記入例
（１ページ目）

令和７年度　事業実績報告書

令和　８年　３月　３１日

福岡市長　　髙島　宗一郎　　様

申請者の団体名、会長名及び住所等

校 区 名　福岡　校区　**クラブ名**　第一天神会

会 長 名　長寿　花子

電話番号（自宅）　〇〇〇-〇〇〇〇（携帯）　〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇

住　所　福岡市　中央　区　〇〇〇〇

老人クラブ活動事業実績について、関係書類を添えて下記のとおり報告します。

記

1	補助事業名	老人クラブ活動事業
2	補助事業の実施期間	令和７年４月１日 ～ 令和８年３月３１日
3	補助事業の実施状況	ア　補助事業経費収支計算書 イ　補助事業の経過又は成果を証する書類等
4	補助金の交付決定額と精算額	ア　補助金の交付決定額　５７，６００ 円 イ　補助金の既交付額　５７，６００ 円 ウ　補助金の精算額　＿＿＿＿＿ 円

令和８年３月３１日時点の会長名を記入してください。

※押印は不要。自署（手書き）の必要もありません。
（パソコンで入力したものや、代筆したものでも受付可）

・右の（　）が、57,600 円以上の場合、左の（　）は、「57,600 円」と記載する。

・右の（　）が、57,600 円未満の場合、左の（　）は、右の（　）の金額を記載する。

令和７年度　活動事業実績調書

1．収支決算

（1）収入の部

区　分	内　容	金　額
繰　越　金	前年度（令和6年度）からの繰入	(ア)　円
会　　費	会費　円×会員　人×　月 （会費免除会員数　人）	(イ)　円
市 補 助 金	福岡市老人クラブ活動事業補助金	(ウ)　５７，６００円
その他 ※助成金（上記以外の市補助金や町内会からの助成金など）、寄付金、利息収入など	内容を記載してください	(エ)　円
合　　計		(ア＋イ＋ウ＋エ) ①　円

（2）支出の部

区　分	金　額
補 助 対 象 経 費	(A)　円
補助の対象とならない経費	(B)　円
繰 越 金	(C)　円
合　　計	(A＋B＋C) ②　円

裏面有

記入例
（２ページ目）

令和７年度　活動事業実績調書

1．収支決算
（1） 収入の部

区　分	内　容	金　額
繰　越　金	前年度（令和６年度）からの繰入	(ア) ２２，２６１円
会　費	会費１００円×会員４０人×１２月 （会費免除会員数　０　人）	(イ) ４８，０００円
市補助金	福岡市老人クラブ活動事業補助金	(ウ) ５７，６００円
その他 ※助成金（上記以外の市補助金や町内会からの助成金など）、寄付金、利息収入など	内容を記載してください 地区自治会からの助成金	(エ) １０，０００円
合　計		(ア＋イ＋ウ＋エ) ① １３７，８６１円

（2）支出の部

区　分	金　額
補助対象経費	(A) １０７，８４５円
補助の対象とならない経費	(B) ２１，１３３円
繰越金	(C) ８，８８３円
合　計	(A＋B＋C) ② １３７，８６１円

※(ア)には、「令和７年度補助金交付申請書」の２ページ目、（１）収入の部の「繰越金」と同額を記入してください。

※年会費の場合は、
「年会費〇〇円×会員〇〇人」と余白に記入します。

～会費の取り扱いについて（令和５年度から）～
老人クラブ運営基準では、会費などの自主財源があることが必要です。
ただし、町内会からの助成金や繰越金など、会費以外の自主財源があるときは、会費を徴収しないこともできます。

その他に収入（町内会からの助成金など）がある場合は、その内容と合計金額を記入します。

「補助の対象とならない経費」は、「単位老人クラブ補助金申請の手引き」でご確認ください。

令和７年度の残金が繰越金となります。
（C）＝①－（A）－（B）

収入の合計額 ①と、支出の合計額 ②は、同じ額になります。

この欄(A)が、57,600 円未満の場合は、補助金の返還が生じます。
57,600 円－「補助対象経費(A)」
＝補助金返還額

記入例
（３ページ目）

〇活動の実績を記入してください。
毎月活動していない場合は、原則として、補助の対象となりません。

〇補助対象外の活動は記入しないでください。例：新年会、忘年会、バス旅行、お花見、初詣、三社参りなど

２．活動事業実績

社会奉仕活動・生きがいを高める活動・健康増進活動や、活動を話し合った会議等について記載してください（補助対象外の活動は記載しないでください）。

時　期	活　動　事　業　名	参加実人数※
4月	交通安全運動 ウォーキング会	２３人
5月	総会 体操会	２５人
6月	公園清掃 ウォーキング会	２８人
7月	公園清掃	１５人
8月	定例会	8人 （猛暑のため）
9月	公園清掃 サークル発表会	２５人
１０月	交通安全運動 ウォーキング会	２６人
１１月	公園清掃 定例会	３０人
１２月	火災予防運動 防犯活動	２５人
1月	世代間交流会 公園清掃	１８人
2月	介護保険制度学習会 健康講座	２６人
3月	公園清掃 定例会	３０人

参加人数が10人未満だった場合は、このようにその理由を記載して下さい。
※右下の枠囲みの欄を参照

※参加実人数は、活動ごとの参加人数を合計した人数（＝延べ人数）ではありません。
同じ月に同じ方が複数の活動に参加したときは、参加実人数は１人として数えます。

～参加実人数とは～

それぞれの月ごとに、事業に参加した会員の実人数を記入してください。

Ａさんが、同じ月の中で複数の事業に参加した場合、人数は１人として計上します。

（例）ある月の活動で
交通安全運動　　Ａ、Ｂ、Ｃさん参加
ウォーキング会　Ａ、Ｄさん参加
ウォーキング会（２回目）Ａ、Ｃさん参加

→延べ人数は７人ですが、
この月の**参加実人数**はＡさん、Ｂさん、Ｃさん、Ｄさんの**４人**となります。

令和７年度の補助金の交付要件について

補助金の交付を受けるには、
①年間を通して活動していること
②毎月10人以上の会員が参加していること
が必要です。

ただし、酷暑期（暑さの厳しい時期）及び厳寒期（寒さの厳しい時期）や、雨天・台風・降雪等の荒天、感染症の流行などの理由で、参加人数が１０人未満だった場合は補助要件を満たすこととします（この場合は、このページにその理由を記載してください）。

裏面有

記入例
（４ページ目）

会員の年齢が分からない場合は、推定でも結構です。

会長・会計は必ず記入してください。

＊会長と会計の兼任はできません。

その他は会則により定められた役員を記入してください。
※役職名を忘れずに記載して下さい

３．老人クラブの概況

（1）会　　員　　数（会費免除会員含む）　　（令和　８年　３月　３１日現在）

	64歳以下	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	計
人数	5	6	15	9	4	1	40

（2）役　員　一　覧　　（令和　８年　３月　３１日現在）

役　職　名	氏　　名
会　　長	長寿　花子
（副会長）	福岡　太郎
会　　計	福祉　春男
女性部長	中央　美子
監　　事	米寿　祝次郎

※会長及び会計を置き、そのほか必要に応じて役員を置くことができます。